

教育委員会だより

いそぎく

第221号

発行日 平成18年3月1日
編集・発行 葉山町教育委員会教育総務課
〒240-0192 三浦郡葉山町堀内2135
TEL. 046(876)1111
FAX. 046(876)2381

第一一回サイエンス・グランプリ

東京電力サイエンス賞
東京電力グランプリ賞

神奈川県教育委員会教育長賞
受賞

葉山町立葉山中学校 3年C組

三井 翔太さん



夏の理科の自由研究として、「化石から推察する葉山の古環境Ⅲ・葉山の生い立ち」というテーマの論文をまとめ、「第一一回サイエンス・グランプリ」に応募しました。その結果、神奈川県内で三一七七点の応募の中から最高の賞である東京電力サイエンス賞、神奈川県教育委員会教育長賞、さらに一都八県の中では、東京電力グランプリ賞を受賞しました。タイトルに「Ⅲ」とあるように、中学一年生、二年生と継続して研究をし、そのまとめとして今回の論文を仕上げたそうです。審査員講評のなかで「この論文は、

長いスパンをかけた地道な研究であるが、内容はダイナミックであり、化石等の観察やスケッチはていねいに正確に書かれていました。多くの資料や自分で集めたデータを分かりやすくまとめ、その分析をもとに葉山の環境をイメージした想像図は一冊の本にして読みたいものです。」と賞賛されていました。研究の動機は、「小5のとき、自宅近くの一色海岸にある岩に化石があることを知ってから興味をもち、葉山での化石採集と、化石について調べはじめた。小6では、葉山に加え、埼玉県祖母の家の近くの入間川や、赤平川など

において、化石の収集をし、自由研究としてまとめた。(中略)しかし、中一になって、自分の住む葉山について、もっと詳しく調べたいと思い調査し始めた。中二では、有孔虫を中心に微化石を研究し、葉山の古環境を推察した。中三となった今年は、これまでの研究のまとめとして、

「葉山の生い立ち」として、つなげて考えてみたいと思った。そして更に葉山で化石を採集すると共に、近隣の同年代(豆子、横須賀、房総半島など)の地層からの産出物も調べ、葉山の古環境について、より深く掘り下げて研究したいと思った。」と論文の冒頭で記しています。

研究の内容は、「研究の目的」の中で主に次の三点についてまとめ、地層、化石から葉山の生い立ちを推察したそうです。

- 一 約一五〇〇万年前より、葉山はどのような環境に置かれたのか、その遷移について
- 二 約一五〇〇万年前からの殻地質年代において葉山周辺は葉山の環境と比べどうであったか
- 三 各地質年代の葉山での、生物たちの営みについて

(抜粋)

調べていて大変だったことは、「有孔虫の化石を取り出すことと、その中から新たに発見される魚の歯の化石が何という魚なのか分からず、現代の魚のあごの骨を取り出し比べ、その魚の名前を探し当てたこと」だそうです。そして、将来の夢は「化石や生物の研究のできる仕事につきたい」と明るく話してくれました。これからもすばらしい研究をしてくれることと思います。